

令和6年度学校評価 結果と分析 酒谷小学校

重点目標	具体的目標	アンケート質問項目	評価(4段階評価)						分析
			児童	保護者	職員	平均	評価	運営協議会	
確かな学力の定着	「わかった」「できた」と実感できる授業展開と指導法の工夫	わかりやすい授業である。	3.5	3.9	3.3	3.6	3	3	○児童が「わかる」「できる」を体感できる授業、対話的・協働的な学びのある授業を目指し、互いの授業を検証するなど日々改善に取り組んでいる。授業参観等をおし、保護者に学習に関する高い評価をいただいた。 ○学校の取組として、読書旬間を設定し本に親しませる取組を行うことができたが、家庭での読書の習慣を定着させるまでには至らなかった。今後も継続的に取り組む必要がある。 ○1～3年生対象の日南キューブを使用した学習の取組はよかった。 ●学習内容の定着や、家庭での学習の取組については改善が必要である。
		学習内容をよく理解している。	3.4	3.1	3	3.2			
	読書習慣の定着	進んで読書をしている。	2.8	1.9	3.7	2.8	2		
		「旅する読書」に積極的である。	2.7	2	2.7	2.5			
	学習訓練の徹底と複式授業の充実	進んで発表する。	3.3			3.3	3		
	授業と連動した家庭学習の推進	進んで家庭学習に取り組む。	2.8	1.9	3.7	2.8	2		
	その他	デジタル教科書、タブレットを活用し、工夫した授業をしている。	3.8	3.4	3.7	3.6	4		
		飢肥杉積み木(日南キューブ)を活用している。	4	3.3	4	3.8			
豊かな心を育む教育	あいさつ運動の充実	家族・先生・地域の方に進んであいさつをする。	3.7	3.4	3.2	3.4	3	4	○児童自身が地域の方や家族等に対して「あいさつをすすんでしている」と肯定的にとらえている。 ○学校生活に対する満足度が児童・保護者ともに高い結果となった。 ○地域の方との交流を通じた学習活動により、酒谷小で学ぶことや酒谷地区への愛着や誇りをもつことができています。 ○学校内におけるルールの徹底を図るため、高学年の児童を中心に呼びかけるなど主体的な取組があり、児童の規範意識の高まりにつながった。
		元気のよい返事ができる。	3.3	3.2	3.2	3.2			
	いじめ防止基本方針の推進	友達と仲良く過ごしている。	3.9	3.8	3.6	3.8	4		
	道徳教育の充実	友達に優しくしている。	3.5	3.6	3.4	3.5	3		
	その他	楽しく学校生活を送っている。	3.4	3.7	3.5	3.5	4		
		児童が活躍する場を作り、認め、励ましている。		3.8	3.6	3.7			
		基本的な生活習慣(ルール・マナーを含む)が身についている。	3.5	3.1	3.6	3.4			
		酒谷小や酒谷地区を好き・誇りに思う教育がなされている。	3.8	3.7		3.8			
健康・体力の向上と安全の教育と充実	基礎体力の向上	進んで運動をする。	3.4	2.5	3.5	3.1	3	4	○関係機関と連携した保健指導などにより、保護者への啓発はできている。 ○地震や豪雨などの自然災害を体験したことにより、学校・家庭・児童それぞれが危機意識をもち、安全に行動することに対する意識の高まりがみられた。 ●基礎体力の向上については、学校では保健体育の観点から指導を行っているが、まだ定着できていない。
		よい姿勢で過ごす。	2.7	2.5	3.2	2.8			
		早寝・早起き・朝ご飯	2.8	2.9		2.9			
	危険予測・回避能力の育成	安全に過ごしている。	3.4	3.8	3.4	3.5	4		
		安全に行動できる力が身についている。	3.9	3.8	4	3.9			
	家庭・関係機関と連携した食育・健康教育・安全教育の充実	関係機関と連携し、保健教育(食・健康・安全)の充実が図られている。 虫歯・肥満予防の指導を強化し、保護者へも啓発を行っている。		3.8	3.8	3.8	4		
開かれた学校づくりの推進と地域連携	学校の積極的な情報発信	ホームページや学校便り、文書・メール、学級通信により情報発信に努めている。		3.9	3.8	3.9	4	4	○学校・教職員に対し、いつでも相談できるという安心感が保護者にはあり、そのことが学校全体に対する信頼感を高めている。学校行事に対する保護者の協力に表れていると感じる。 ○これからも地域に根ざした教育活動を推進し、ふるさととのよさを知り、ふるさとを愛する児童の育成に努めたい。
		悩みや困ったことを相談しやすい。	3.4	4	3.5	3.6			
	地域行事への積極的な参加	ふるさと学習(自然・産業・伝統芸能)を推進している。	3.9	3.9	4	3.9	4		
		地域の人材活用がなされている。	3.9	3.7	4	3.9			
	オープンスクール、参観日等の充実	家庭や地域と連携した教育活動が行われている。			3.8	3.8	4		
	ボランティア活動	ボランティア活動を積極的に行っている。	3.6		3.5	3.6	3		

(保護者より)

○人数が少ないからこそ、ちょっとしたことで相談しやすく、甘えている場合もあるな～と思っています。子どもは酒谷小が大好きです。それも先生方のおかげだと感謝しています。

○専門的な知識を持つ先生が多いので、子供が個性豊かに育ち、伸びやすいと思う。放課後子ども教室について、改善した方がよいと感じる。(今の状態に何も言うことはないが、今後担当する先生方の年齢層を考えると・・・) 飢肥小など他校の児童クラブなどに行くことはできないだろうか。また、コミュニティバスの利用について、積極的に活用するために、ルート(道幅が狭く子供が怖がる・遠回りになるなど)の改善などできないだろうか。

(学校運営協議会より)

○日南キューブの取組に一定の成果がみられる。今後継続していくための手立てについて要望していく必要がある。

○児童の成長のためには、人間関係上のトラブル回避の指導を行うだけでなく、問題解決力を身に付けていくための指導も継続して行っていただきたい。

○地区としては、果樹園計画について苗の植栽に入るための準備を整えている段階である。学校としては、土地の整備など児童ができることから取り組んでいっていただきたい。

○3年間の学校評価の推移から、どの項目も評価が向上していることがわかる。ただ、読書に関する項目については一定の効果がみられるものの低いスコアである。次年度以降も改善のための取組をお願いしたい。

(学校の対応について)

○読書に関しては、「23日読書の日」を中心に、家庭での読書習慣を身に付けていくよう取り組んでいくようにしたい。

○小規模特認校への転入学の条件に「送迎が可能であること」という項目があることを再度保護者に確認したい。また、人数もある程度増えていることからPTAの組織体制について整え関係各所との連携を効果的に図っていきたい。

○学習発表会における児童の様子について、学校運営協議会委員・ならびに保護者より「堂々とした発表で、内容も酒谷地区に対する思いにあふれており大変よかった。」と評価いただいた。今後も、酒谷小で学ぶことや酒谷地区で学ぶことに誇りを持てる教育活動に取り組んでいきたい。